

「子育て×働く」のリアルを探求する キャリア教育プロジェクト

1 目的・概要

「子育て×働く」のリアルを探求するキャリア教育プロジェクトは、仕事と育児の両立をされている様々な方々の実体験を見聞きすることによって、自分らしいキャリア選択を叶えられる社会の実現について考えることを目的としたプロジェクトです。私たちは将来への不安の解消、ライフプランを考えるきっかけを作ることを目的として、このプロジェクトに参加しました。このプロジェクトに参加する前は、私たちのキャリアを取り巻く現状が分からず、働きながら子育てをするという、その両立に漠然とした不安を抱えていました。このように「分からない」ことによって不安が生じると感じた私たちは、その不安を解消することによって、将来の選択肢を増やしていくことができるであろうと考えました。そこで、春学期には3つの班に分かれてそれぞれが関心のあるテーマについての現状を探ることにしました。1班は男性の育児休暇、2班は男女の性別役割分担、3班は育児と仕事の両立をしている女性のキャリア選択をテーマとして調べていきました。その後、秋学期には3班がそれぞれ調べてきたものを周りの人たちへ伝えるため、班に関係なく、全員で1つの冊子を作成しました。



Annual Schedule

春学期

- | | | |
|-------|----|---|
| 2020年 | 4月 | 事前学習（子育て、両立、制度、将来のビジョンについて） |
| | 5月 | 女性活躍推進を行う企業の代表の方からのヒヤリング |
| | 6月 | NPO 法人ファザーリング・ジャパン関西理事長の方からのヒヤリング |
| | 7月 | 仕事と子育てを両立されている方へのアンケート調査、育児休暇を取得されている男性へのアンケート調査の実施 |



秋学期

- | | | |
|-------|--------|------------------------------|
| 2020年 | 9月 | 春学期の振り返り、目的の再確認 |
| | 10月 | プロジェクトの発信の仕方についての話し合い |
| | 11～12月 | 冊子の準備・作成、Instagramアカウントの運用開始 |
| | 1月 | 冊子を読んでもくださった方へのアンケート調査 |

2 成果達成度

春学期の活動について

まずはプロジェクトの自分たちの知識を得るために、それぞれ興味のある分野のグループ3つに分かれて活動しました。1班のグループは男性の育児休暇について、2班は性別役割分業について、3班は女性のキャリア形成についてを調べました。4～5月にかけて本やインターネットなどの文献から知識を得、それだけではわからないリアルな声を聴くために、6月～7月にかけてヒヤリングやアンケート調査、インタビューを行いました。



1班はNPO法人ファザーリング・ジャパン関西理事長の篠田厚志さんからオンライン上でヒヤリングを行い、また他にも育児休暇を取得したことのある男性の方に向けたアンケート調査を実施し、約30名の方からご回答を得ました。2班は子育てや仕事を行う方にアンケート調査を実施し、約370名の方からご回答を得ました。3班は株式会社ナチュラルリンク代表の高野美菜子さんからオンライン上でヒヤリングを行いました。また3人の子育てと仕事を両立している女性にキャリアインタビューを行いました。班のメンバーだけでなく、プロジェクト受講生全員が参加し、1人1人が知識を得て、将来に対する漠然とした不安を解消していきました。コロナの影響によって、対面ではなくオンラインでヒヤリングを行うこととなり、初めての形式だったので不安もありましたが、無事スムーズに進行することができました。春学期の授業がオンラインになったことでグループでの話し合いや講演会では難しい部分もありましたが、ZOOMのような新しい時代に合わせたツールを使用し、オンライン化に対応できる力が身に付いたと思います。また、SNSを上手く活用して周囲の人たちへのアンケートも行うことができました。より多くの方にアンケートに協力していただくためには、いかに回答者の方の負担を減らすか重要だということが分かり、アンケート作成のポイントを学ぶことができました。

秋学期の活動について

秋学期には、春学期にインプットした情報をどのようにアウトプットし、周囲に伝えていくか、話し合いを重ねた結果、私たちと同じように将来を不安に思う学生たちに向けて冊子を作成することに決まりました。秋学期も春学期と同様に基本的に3班に分かれて、収集した情報を元に、自分の将来を考えるきっかけを提供できるような冊子を目指して作成に取り組みました。



文章は学生にもわかりやすい表現を心掛け、イラストもメンバーが作成し、沢山の学生の手にとってもらえるように工夫しました。そして冊子を紙媒体やデジタル媒体で学生に拡散し、読んでいただいた方に向けたアンケート調査を実施しました。多くの方にこの冊子を読むことによって不安が解消されたとのことご回答をいただきました。また冊子作成と同時並行にSNSで、主にインスタグラムやツイッ

ターで働くことや子育てにおける家事の工夫に関して情報発信を行いました。秋学期の活動の方向性を決めることが遅くなってしまい、活動がスムーズに行かなかった点が反省点です。活動をしていく中で、改善点がでてくることやそれを適宜修正していくことは必要でしたが、秋学期の最初の話し合いの時間で方向性を早めに固めることができたならよりスムーズに進めることができたと思います。

3 プロジェクトを通じて

プロジェクトで様々な方の話を聞かせていただき、調べていくうちに自分なりに工夫して私らしい生き方があるのだと気づかされました。将来に対する不安は解消され、将来をポジティブなものに捉えられるようになりました。女性として、これからの人生において考えていかなければならない要素について知り、そして自分が思っていた以上に様々な選択肢があることを学びました。このように、不安の根源を理解したことで将来に自信が持てるようになりました。正解は一つではなく、自分が置かれた状況に柔軟に対応していけば良いということに気が付きました。より良い選択肢を選びながらも、その選択や状況に臨機応変に対応し、私らしいキャリアを形成していこうと思います。



編集後記

この1年で沢山の人の話しをお聴きし、様々な働き方や生き方を知りました。そして将来の選択肢を広げることができ、プロジェクト科目受講前の将来への不安が軽減しました。また、今回の活動を振り返ると、春学期はオンラインでの活動になり、昨年度のような家庭訪問や子供とのふれあいができないなどの様々な制限がありました。本来の予定通りに進まないことに対する悔しさはありましたが、オンライン上だからこそできることを見つけることができました。既存のやり方だけでなく、新しい形でプロジェクトを進めていくことが可能だということを知り、視野が広がったと感じています。プロジェクトで学んだことを今後のライフプランに活かしていきます。我先生、川口先生をはじめ、多くの方々のお力添えいただき、充実した活動を行うことができました。本プロジェクトに関わってくださった皆様に、心から感謝申し上げます。

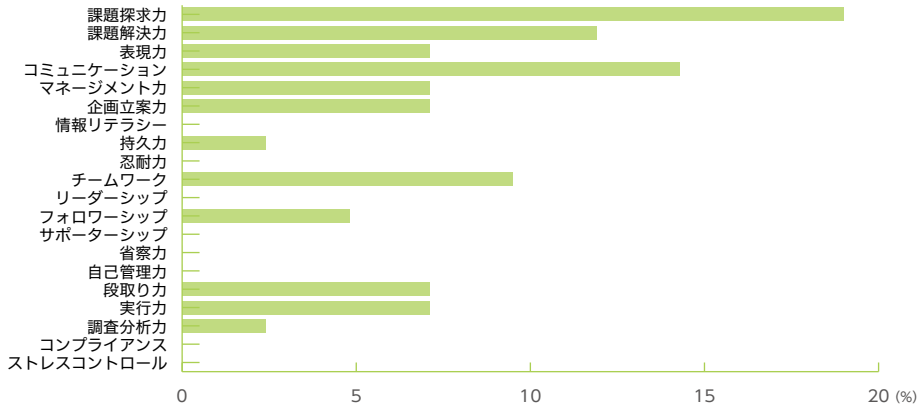
プロジェクトメンバー

落合 彩佳(文3) 中野 亜夢(社会3) 金山 美風(社会3) 南浦 万友(法3) チャンシンヤン 仁香(商3)
浅利 奈緒(商2) 齋藤 琉伽(商2) 山口 凜(商2) 林 梨香子(政策3) 出口 栞理(グローバル地域文化3)
林 陽菜(グローバル地域文化3) 伴 あすか(グローバル地域文化3) 宇都宮 舞佳(グローバル地域文化3)
大槻 葉奈(グローバル地域文化2)

プロジェクト活動 アンケート集計結果

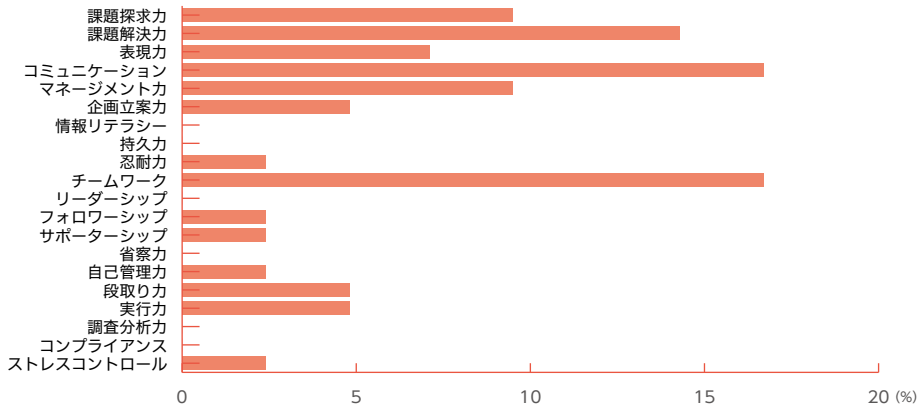
秋学期開始時

Q1 チームとしてのプロジェクト活動に「必要と思われる要素」を選んで下さい



秋学期終了時

Q1 チームとしてのプロジェクト活動に「必要と思われる要素」を選んで下さい



Q2 プロジェクト活動を通して実際にあなたが「身についたと思う要素」を選んで下さい

